

わが社の防火

株式会社 電業

会社紹介

当社は電車に電気を供給する架線の国産化を目的として1919年5月8日に創業しました。1939年に株式会社化し、1941年に現在の東大阪市高井田に本社工場を移転しました

創業以来、全国の都市交通・民営交通へ製品納入を始め、戦後は日本国有鉄道の電化計画にも関わり、特に新幹線建設には新しい金具を開発し、数多くの製品が採用されました。

最近では西九州新幹線（武雄温泉・長崎間）や北陸新幹線（金沢・敦賀間）の建設工事の他、海外での鉄道建設工事にも製品を多数納入し鉄道の安全・安定輸送を維持できる製品を供給し続けています。

また、現在は電車線金具だけでなく、鉄道事業者と協力して作業の省力化や設備監視の自動化装置などの開発を行っています。

次世代に向けてすべての工場設備を見直し、新鉄鋼工場、新铸造工場

が竣工し、安定供給を確保しながら日々研鑽を重ね時代の変化に適應できる体制を確立しています。



当社の取り組み

当社では、火災の予防と人命の安全、並びに災害による被害の軽減に備えた防火運動に取り組みんでいます。

す。

防火については、自衛消防隊を組織し消防避難訓練や、水消火器を使用した消火訓練及び屋内消火栓の操作・放水訓練を実施して、防火体制の技能習熟や防火に対する意識向上に取り組みんでいます。

また毎週、安全パトロールを実施し、安全・衛生に関する項目の他に、各種消火設備、消火器圧力計の確認や消火栓等周りに物が置かれていないか、また、職場の不安全な状態や、整理整頓の状況を確認して災害発生時、速やかに避難できるよう通路の妨げになるものがないかチェックしています。

この安全パトロール実施後、パトロール結果を社内でも共有し、全社員が問題に対して共通の認識を持つことにより、安全・防災の意識向上に繋がっています。



近年自然災害が多発しています。が、どのような災害が起ころうとも社内ですべてのやるべき事を理解

し、自らの安全確保を最優先するよう指導しています。

今後も東大阪西消防署や東大阪市西防火協力会、東大阪市西自衛消防隊連合会のご指導をいただきながら防災、防火に努めてまいります。